

## リモートデスクトップサービス構築マニュアル

WAN環境で使用する場合のセットアップ





1	はじめに	•••••••••••••••••••••••••••••••••••••••	1-	- 1	I
					- 14

2	Windows Server 2022,2019,2016	1-2
	WORKGROUP環境の場合	
	リモートデスクトップセッションホスト役割サービスの追加 ・・・・・	1-2
	リモートデスクトップセッションホストの構成 ・・・・・・・・・・・・・・・	1-5
	ライセンスサーバーのアクティブ化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1-8
	リモートデスクトップ用ユーザーアカウントの設定 ・・・・・・・・・・・・	1-13
	レッツ原価管理Go2のリモートデスクトップショートカットの作成 ・・・・・・	1-15

- 本書では、レッツ原価管理Go2をWAN環境でセットアップするための方法のみ解説しております。 機能および基本的な操作方法につきましては、「レッツ原価管理Go2操作マニュアル」で ご確認ください。
- 本書の内容に関しては、訂正・改善のため、予告なしに変更することがあります。
   Windows は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

### 1 はじめに

レッツ原価管理Go2をリモートデスクトップサービスでご利用いただく 場合のセットアップ手順です。 当マニュアルではワークグループ環境を想定して説明いたします。

Windows Server 2022,2019,2016のエディションは DatacenterまたはStandardをご利用ください。

#### 全体の流れ

1 レッツ原価管理Go2をサーバーにインストールします。 【注意】必ず管理者権限を持つユーザーでインストールしてください。

7 クライアントで接続します。

## 2 Windows Server 2022,2019,2016 WORKGROUP環境の場合

リモートデスクトップセッションホスト役割サービスの追加

- 1 管理者アカウントでログオンします。
- 2 [スタートメニュー]から[サーバーマネージャー]を開きます。 見つからない場合は[Windows]+[R]キーを押してファイル名を指定して実行 を起動し[servermanager.exe]と入力して[OK]をクリックします。

	ファイル名を指定して実行						
実行するプログラム名、または開くフォルダーやドキュメント名、インター ネット リソース名を入力してください。							
名前(O): servermanager.exe							
	🛞 このタスクは管理者特権で作成されます。						
	OK キャンセル 参照(B)						

3 サーバーマネージャーを起動後、メニューバーより[管理]をクリックし [役割と機能の追加]をクリックします。

	サーバー マネージャー	
ィージャー・	・ダッシュボード ・ ②   🚩	管理(M)
ナーバー マネージ	ヤーへようこそ	役割と機能の追加     役割と機能の削除     サーバーの追加
ዕイック スタート	1 このローカル サーバーの構成	サーバー クループのYE成 サーバー マネージャーのプロパティ
(Q)	<ol> <li>2 役割と機能の追加</li> <li>3 管理するサーバーの追加</li> </ol>	=

- 4 役割と機能の追加ウィザード画面が表示されたら[次へ]をクリックします。
- 5 [役割ベースまたは機能ベースのインストール]を選択し[次へ]をクリックします。 ※[リモートデスクトップサービスのインストール]が選択肢として表示されますが、 仮想デスクトップインフラストラクチャ(VDI)に使用するサービスであり

▶ 役割と機能の追加ウィザード		-		×
インストールの種	類の選択		対象サ W52015	-/(- 95TN
開始する町に インストールの整約 ブーバーの連所 フーバーの逆射 編編 総理 総理	インストールの連携を選択します。必要および物能は、実行中の物理ンク、 使用・ディスク(中心)にインストールできます。 のます。それやこれでは、などが効果を登加して、1600ヶバーを提成で、 のます。それやこれでは、などが効果を登加して、1600ヶバーを提成で、 のまた。それが効果を登加して、1600ヶバーを提成で、 のまた。それがないため、1000ヶメリール。 を見て、クロンク、クロンク、クロンク、クロンク、 のため、クロンク、クロンク、クロンク、 のため、クロンク、クロンク、クロンク、 のため、クロンク、 のため、このため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、	ンビューテー、 使意 フンビューテー、 よます。 インストールして、 仮想マシン ベー	またはオフ ・スまたはセ	572 1928
	< 前へ(P) 次へ(I	N)> インストール(1)	キャンセ	ell.

6 [サーバープールからサーバーを選択]が選択されていることを確認し、 [サーバープール]欄よりインストール対象のサーバーを選択して [次へ]をクリックします。

※ 単一サーバーの場合はそのまま[次へ]をクリックします。

🚵 役割と機能の追加ウィザード				-		×
対象サーバーの選	択				対象サー WS2019!	-/(- STN
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割	役割と機能をインストー ●サーバー ブールからす ○ 仮想ハード ディスク: サーバー プール	ルするサーバーまたは仮想ハー ナーバーを選択 から選択	ドディスクを選択します。			
機能確認	フィルター:					
和木	る III WS2019STN	IP アトレス 192.168.100.65	パレーティフク システム Microsoft Windows Ser	ver 2019 Standard		
	1 台のコンピューターが見 このページには、サーバー それ以降のリリースの M てデータ収集が完了して	とつかりました マネージャーの [サーバーの追え Vindows Server を実行して Cu ないサーバーは表示されます	ロ) コマンドを使用して追加され いるサーバーが表示されます。オ さん。	た、Windows Serv フライン サーバーや、I	er 2012 ま 新たに追加	たは
		< 前	へ(P) 次へ(N) >	インストール(I)	キャンセ	!JL

7 [リモートデスクトップサービス]にチェックを入れ[次へ]をクリックします。

🏊 役割と機能の追加ウィザード		- 🗆 ×
サーバーの役割の選	択	対象サーバー WS20195TN
開始する前に	選択したサーバーにインストールする役割を 1 つ以上選択します。	
インストールの種類 フーバーの違訳 サーバーの役割 機能 リモートデスクトップ サービス 役割サービス 確認 転果	<ul> <li>         ・</li></ul>	説明 リモートラストップ サービスを使用する と、ユーザーが伝想デスクトップ、セッション ベースのデスクトップ、あよび RemoteApp ブログラムにアクセスできえたとなります。 伝想マシン ベースをたはセッション ベースの デスクトップ 男型を確成するには、リモート デスクトップ サービスのインストールを使用し ます。
	<	)> インストール(1) キャンセル

- 8 機能の選択画面に移るので何も選択せず[次へ]をクリックします。
- 9 リモートデスクトップサービス画面に移るので[次へ]をクリックします。

10 [Remote Desktop Session Host]と[リモートデスクトップライセンス] にチェックを入れます。チェックを入れた際に表示される画面で[管理ツールを含める] にチェックが入っていることを確認して[機能の追加]クリックし[次へ]をクリックします。

🏊 役割と機能の追加ウィザード		- 🗆 X
役割サービスの選抜	7	対象サーバー W520195TN
開始する前に	リモート デスクトップ サービス のインストールする役割サービスを選択しま	ŧġ
インストールの種類	役割サービス	説明
サーバーの選択	Remote Desktop Session Host	リモート デスクトップ ライセンス (RD ライセ
サーバーの役割	□ リモート デスクトップ Web アクセス	ンス) では、リモート デスクトップ セッション ホスト サーバーまたは仮想デスクトップへの
機能	□ リモート デスクトップ ワート・リエイ ▼ リモート デスクトップ ライセンス	接続に必要なライセンスを管理します。
リモート デスクトップ サービス	リモート デスクトップ仮想化ホスト	RD ライセンスを使用すると、ライセンスのイ ンストールと発行を行ったり、ライセンスが
役割サービス	└_」 リモート テスクトップ接続フローカー	使用可能かどうかを追跡したりできます。
確認		

11 インストールオプションの確認画面でインストールオプションを確認します。 適宜[必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する]にチェックを入れ [インストール]をクリックします。

<ul> <li>▲ 役割と機能の追加ウイザード - □</li> <li>インストール オプションの確認</li> <li>期始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの優割 機能</li> <li>リモート デスクトップ サービス</li> <li>歳報</li> <li>ジェンクの役割</li> <li>(金割ケービス)</li> <li>(本)</li> <li>(1000</li> <li>(100<th>×</th></li></ul>		×		
Tail (VB) C (WRU の 3 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 /	- コ × 対象サーバー WS20195TN をクリックしてください。			
サーバーの役割 機能 リモート デスクトップ サービス 役割サービス 確認 結果	UF-トサーバー管理ツール 役割管理ツール リモートサーバー管理ツール リモートデスクトップサービス ツール リモートデスクトップ ライセンス ツール リモート デスクトップ ライセンス 診断機能ツール リモート デスクトップ サービス Remote Desktop Session Host リモート デスクトップ ライセンス	. (/201	1 <sub>0</sub>	

[必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する]にチェックを入れると 「自動的に再起動しますか?」というポップアップが表示されるので [はい]をクリックします。

12 インストールの進行状況画面で「インストールが正常に完了しました」の表示を確認し 構成は完了です。[閉じる]をクリックしウィザードを終了します。 リモートデスクトップセッションホストの構成

- 1 管理者アカウントでログオンします。
- Windows]+[R]キーを押してファイル名を指定して実行を起動し、[gpedit.msc]と 入力して[OK]をクリックします。

	ファ	イル名を指定して実行
	実行するプログラ ネットリソース名	ム名、または開くフォルダーやドキュメント名、インター を入力してください。
名前( <u>O</u> ):	gpedit.msc	¥
	🛞 このタスクは	管理者特権で作成されます。

- 3 グループポリシーエディター画面が表示されたら、左ペインより
   [コンピューターの構成]→[管理用テンプレート]→[Windowsコンポーネント]
   →[リモートデスクトップサービス]→[リモートデスクトップセッションホスト]
   →[ライセンス]の順に展開します。
- 4 [指定のリモートデスクトップライセンスサーバーを使用する]を ダブルクリックします。



5 [有効]を選択して[使用するライセンスサーバー]の部分にサーバーのコンピューター名 またはIPアドレスを入力します。



6 [リモートデスクトップライセンスモードの設定]をダブルクリックします。



7 [有効]を選択し、プルダウンメニューより購入されているライセンスモードを 指定して[OK]をクリックします。

🍤 リモート デスク	トップ ライセンス モードの設定					
🔚 リモート デスクトップ ライセンス モードの設定	前の設定(P) 次の設定(N)					
<ul> <li>・ 未模成(C) コメント:</li> <li>● 有効(E)</li> <li>● 無効(D)</li> <li>サポートされるバージョン: Windows S</li> </ul>	erver 2003 Service Pack 1 以降					
オプション: 	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、					
RD セッション ホスト サーバーのライセンス モードを指定す る。 接続デバイス数 v	このパリシー設定を使用すると、この RD セッション ホスト サーバーに接続 ^ するために必要なりモート デスクトップ サービス クライアント アクセス ライセ ンス (RDS CAL)の確認を指定できます。					
接続デバイス数 接続ユーザー数	このポリシー設定を使用すると、「接続ユーザー数」と (接続デバイス数) の 2 つのライセンス モードのいずれかを選択できます。 [接続ユーザー数] ライセンス モードでは、この RD セッション ポスト サー					

#### 8 次に左ペインから[接続]を選び、 [一覧にないプログラムをリモートから起動できるようにする]をダブルクリックします。



#### 9 [有効]を選択し、[OK]します。

💭 一覧にないプログラムをリモートから起動できるようにする - 🗆 🗙									
−覧にないブ	置 一覧にないプログラムをリモートから起動できるようにする 前の設定(P) 次の設定(N)								
○ 未構成(C) ● 有効(E) ○ 無効(D)	אלאב:							< >	
	サポートされるバージョン:	Windows Se	erver 2008 以	降				< >	
オプション:			ヘルプ:						
			このポリシー設 開始時にリモ・ ログラムを開始 のみを開始で	設定を使用すると、リモート ユーザーが RD セ とできるか、RemoteA きるかを指定できます。	ート デスクトップ ミッション ホスト App プログラム(	<sup>9</sup> サービス・ サーバーよ の一覧にあ	セッションの この任意の ふプログラ」	) ^ プ ム	
			Windows S RemoteApp セッション ホス	erver 2008 R2 およ o マネージャーを使用 ト サーバー上のプログ	び Windows することで、リモー ラムを制御でき	Server -トで開始 ます。Wir	2008 の できる RD idows		

ライセンスサーバーのアクティブ化

1 [スタートメニュー]→[Windows管理ツール]から [リモートデスクトップライセンスマネージャー]を開きます。 ない場合は[Windows]+[R]キーを押して[ファイル名を指定して実行]を起動し [licmgr.exe]と入力して[OK]クリックします。

ファイル名を指定して実行					
٨	実行するプログラム名、または ネットリソース名を入力してく	開くフォルダーやドキュメント名、インター ざさい。			
名前(O):	licmgr.exe	~			
	このタスクは管理者特権で作成されます。				
	OK	キャンセル 参照(B)			

2 サーバーを右クリックして[サーバーのアクティブ化]をクリックします。

🖘 RD ライセンス マネージャ	-				-	×
操作(A) 表示(V) ヘル	7(H)					
	名前	アクティブ化の状態	検出スコープ	構成		 
	WS20195TN	非アクティブイ	最新の情報に更新(R)			
			構成の確認(N)			
			ライセンスのインストール(1)			
			サーバーのアクティブ化(S) 拡張(V)	3		
			レポートの作成(O) レポートの削除(D)	5		
			ライセンスの管理(M)			
			プロパティ(P)			

3 サーバーアクティブ化ウィザードの開始画面が表示されるので[次へ]を クリックして進めます。



4 接続方法の設定画面が表示されます。 [自動接続]になっていることを確認して[次へ]をクリックします。

サーバー	・のアクティブ化ウィザード		×			
接続方法 最も適切な接続方法を選択してください。						
	下記で選択した接続方法は、ライセンスのインストール時に Microsoft クリアリング ハウスに問い合わせる際 にも使用されます。					
アクティブ化した後に接続を変更するには、ライセンス サーバーの [ブロバティ] ダイアログ ボックスで、[接続方 法] タブを開いてください。						
	接続方法(C):					
	自動接続 (推奨)	~				
	説明:	推奨される方法です。ライセンスサーバーはインターネット経由で、必要 な情報を Microsoft クリアリング ハウスと自動的に交換します。				
	要件:	Secure Sockets Layer (SSL) 接続を使用してインターネットに接続する 必要があります。				

5 会社情報を入力します。 入力したら[次へ]をクリックします。

サーバーのアク	ティブ化ウィザード		×
会社につい 要求	<b>ヽての情報</b> された会社の情報を入力	してください。	9 <sub></sub>
名前、会 続行する	さ社名、および国/地域の には、この情報が必要で	情報を入力してください。 す。	
姓(L):			
名(F):			
国または	地域(R):	~	
会社(C):			
1	名前と会社の情報は 情報は、米国輸出制	、ユーザーがサポートを必要とする場合に Microsoft だけが使用します。 国/地 限に準拠するために必要です。	咸

#### 6 次に詳細な会社情報を入力します。 入力しない場合[次へ]をクリックしてスキップすることも可能です。 [次へ]をクリックするとライセンスサーバーのアクティブ化が開始されます。

このオプションの情報を	入力してください。			3
郵便番号(P):				
都道府県(S):				
市区町村(C):				
会社住所(A):				
組織単位(O):				
電子メール(E)	I			
		 1.1.1.1.+	 e. 11-48	

7 ライセンスサーバーのアクティブ化が完了します。 [ライセンスのインストールウィザードを開始する]にチェックした状態で[次へ] をクリックし、続いて[ライセンスのインストール]を行います。

サーバーのアクティブ化ウィザード		×
	サーバーのアクティブ化ウィザードの完了	
	サーバーのアクティブ化ウィザードを完了しました。	
	ライセンスサーハーは正常にアクテイノルされました。	
	ライセンスをインストールするには、[次へ]をクリックしてください。	
	後でライセンスをインストールするには、[ライセンスのインストール ウィザ ードを開始する] チェック ボックスをオフにして、[完了] をクリックしてくだ さい。	
	✓ライセンスのインストール ウィザードを開始する(S)	

8 ライセンスのインストールウィザード開始画面が表示されます。 [次へ]をクリックして進めます。

サーバーのアクティブ化ウィザード			×
	ライセンスのインストール ウィ	げードの開始	
<b>9</b>	このウィザードでは、リモート インストールします。	デスクトップ ライセンス サーバーにライセンスを	
	このウィザードを完了するに! またはボリューム ライセンスま	よ、ライセンス購入情報 (例: ライセンス コード 2約番号情報) が必要です。	
	- ライセンス サーバーの設定		
	使用者:	株式会社レッツ	
	接続方法:	自動接続 (推奨)	
	ライセンス プログラム:	License Pack (量販店での購入)	
	接続方法を変更するには、 −の [プロパティ] ダイアログ	[キャンセル] をクリックした後、ライセンス サーバ ボックスで、[接続方法] タブを開いてください。	

 9 ライセンスプログラム画面が表示されたら[ライセンスプログラム]のプロダクトメニュー より適切なライセンスプログラムを選択し[次へ]をクリックします。
 ※ここからの手順はご購入いただいたライセンス形態により異なります。
 ここでは[Open License]を選択して進めていきます。

	サーバーのアクティブイ	ヒウィザード	x
<b>センス プログラム</b> 適切なライセンス プログラム <sup>、</sup>	を選択してください。		9
リモート デスクトップ セッショ 仮想デスクトップに接続して イセンス プログラムを選択し	ン ホスト サーバーまたは Microsoft いる各クライアントには、有効なライセ ってください。	仮想デスクトップ インフラストラクチャの ンスが必要です。ライセンスを購入したラ	
ライセンス プログラム(L):	Open License	~	
説明:	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	ム ライセンス プログラムである Open )提供を含みます。	
形式と場所:	ライセンス認証番号およびライセン す。ライセンス認証番号は、15 5 て、3 英文字、さらに 4 文字の数 数字です。	νス番号は注文確認のヘッダーにありま マ字の英数字 (数字 8 文字に続い 文字です)、ライセンス番号は 8 文字の	
例:	12345678ABC1234	(ライセンス認証番号)	

10 次に購入しているライセンス番号を入力し[次へ]をクリックします。

サーバーのアクティブ化ウィザード					
<b>ライセンス プログラム</b> ライセンス契約番号を入力してください。					
購入したライセンスのライセンス身 る] をクリックしてください。	昭約番号を入力してください。 ライセンス ブ	ログラムを変更するには、[戻			
ライセンス プログラム:	Open License	_			
ライセンス契約番号(A):		(ライセンス認証番号)			
		(ライセンス番号)			
150.	12245678ABC1224	٦			
191]:	12345670				
	12343070				

11 製品のバージョン、ライセンスの種類を選択、ライセンス数を入力し[次へ]を クリックします。

	ライセンスのインストール ウィザード	x		
<b>製品バージョンとライセンスの種類</b> 製品バージョンとライセンスの種類を選択してください。				
ライセンス サーバーにインス	トールするライセンスの製品バージョンとライセンスの種類を選択してください。			
ライセンス プログラム:	Open License			
製品バージョン(V):	· · ·			
ライセンスの種類(T):	<b></b>			
ライセンス数(Q):	(このライセンス サーバーで利用可能になるライセンスの数)			

12 インストール後[ライセンスのインストールウィザードが正常に完了しました。] と表示されたら[完了]をクリックし、インストールを終了します。 リモートデスクトップ用ユーザーアカウントの設定

- 1 管理者アカウントでログオンします。
- 2 [Windows]+[R]キーを押してファイル名を指定して実行を起動し、 [compmgmt.msc]と入力して[OK]をクリックします。

💷 วรานส์	ファイル名を指定して実行			
実行するプログラム名、 ネット リソース名を入力	または開くフォルダーやドキュメント名、インター してください。			
名前( <u>O</u> ): compmgmt.msd	~			
😵 このタスクは管理者特権で作成されます。				

3 コンピューターの管理画面が表示されたら[ローカルユーザーとグループ]を展開し [グループ]をクリックします。グループ一覧より[Remote Desktop Users]を ダブルクリックします。

£		コンピューターの管理
ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	へルプ(H)	
🗢 🏟 🞽 📰 🙆 🛃 👔		
<ul> <li>■ コンピューターの管理(ローカル)</li> <li>④ システム ツー・・・</li> <li>● タスクス クスシューラ</li> <li>▶ 圖 イベント ビューアー</li> <li>▶ 圖 イベント ビューアー</li> <li>▶ 圖 ローカル ユーザーとグルーラ</li> <li>▲ 愛 ローカル ユーザーン</li> <li>● 「クループ」</li> <li>▶ ⑤ バクオーマンス</li> <li>… デバイス マネージャー</li> <li>▲ 認知域</li> <li>▼ 「イスクの管理</li> <li>▶ ⑤ サービスとアプリケーション</li> </ul>	오페 Administrators Administrators Backup Operators Cryptographic Operators Cryptographic Operators Cryptographic Operators Cryptographic Operators Event Log Readers Guests Hyper-V Administrators IIS_IUSR Network Configuration Operators Performance Log Users Performance Monitor Users Print Operators Print Operators RDS Endpoint Servers RDS Management Servers RDS Memode Desktop Users	説明 このガルーブのメンバーは、このコンピューター上のリソースの脱 コンピューターパメインに完全なアクセス種があります。 Backup Operators は、バックアップの作成またはファイルス ごのガルーブのメンバーは、エンタープライズの証明機関に提 メンバーは、暗号に仕場作の実行を許可されています。 メンバーは、このコンピューターで分割 COM オブシェクトを起 このガルーブのメンバーは、ローカル コンピューターからイベンド 既定では Users ガループのメンバーと同じアクセスがあります。 このガルーブのメンバーには、Hyper-V のすべての機能に対 インターネット インフォーション サービスで機能に対 インターネット インフォーション サービスで機能に対 インターネット インフォーション サービスで機能に対 インターネット インフォーション サービスでした。ローカルで・ このガルーブのメンバーは、ローカルやリモートのパフォーマンス Power Users は、彼見可なシェーターから、ローカルで・ このガルーブのサーバーは、仮想マシンを実行し、ユーザーの このガルーブのサーバーは、仮想マシンを実行し、ユーザーの このガルーブのサーバーは、RemoteApp プログラムなよび何 このガルーブのサーバーは、RemoteApp プログラムなよび何 このガルーブのメンバーにはジェートからログオンアる植物が与、

4 Remote Desktop Usersのプロパティ画面で[追加]をクリックします。

Remote Desktop Usersのプロパティ 🛛 📪 🗙
全般
Remote Desktop Users
説明(E): このグループのメンバーにはリモートからログオンする権利が与えられ ています。
所属するメンバー(M):
ユーザーのグループ メンバーシップに対する変更 は、そのユーザーが次にログオンするまでは有効 になりません。
OK         キャンセル         適用(A)         ハルブ

5 [選択するオブジェクト名を入力してください]欄にリモートデスクトップで使用する ユーザーアカウントを入力し[名前の確認]をクリックします。名前が確定されたことを 確認し[OK]をクリックします。

ユーザー の選択	×
オブジェクトの種類の選択(S):	
ユーザー または ビルトイン セキュリティ プリンシパル	オブジェクトの種類(O)
場所の指定(F):	
WS2019STN	場所(L)
WS2019STN¥lets01	名前の確認(C)
詳細設定(A)	OK キャンセル

6 [所属するメンバー]欄に追加したアカウントが表示されていることを確認し [OK]をクリックします。

Remote Desktop Use	rsのプロパティ	?	$\times$
全般			
Remot	e Desktop Users		
説明(E):	このグループのメンバーにはリモートからログオンする権 ています。	利が与えら	in
所属するメンバー(M <del>愛</del> lets01	2		

レッツ原価管理Go2のリモートデスクトップショートカットの作成

### [Windows11の場合]

[スタート]→[すべてのアプリ]→[Windows ツール]→[リモートデスクトップ接続]を クリックします。



### [Windows10の場合]

[スタート]→[Windowsアクセサリ]→[リモートデスクトップ接続]を クリックします。



1 リモートデスクトップ接続の画面を開いたら[オプション表示]をクリックします。

- ► デスクトップ接続 - ×
リモート デスクトップ 接続
コンピューター(C): [例]: computer.fabrikam.com 〜
ユーザー名: 指定されていません
コンピューター名フィールドが空白です。 リモート コンピューターの完全な名前を入力してください。
まプションの表示(Q)     接続(№)     へルプ(出)

- 2 ログオン設定の部分にリモート接続するサーバーのコンピューター名(またはIPアドレス) ログオンするユーザを入力します。
  - 入力された状態で接続設定の[名前を付けて保存]をクリックしRDPファイルを作成します。

퉣 リモート デ	スクトップ接続 – 🗆 🗙
<b>N</b>	リモート デスクトップ <b>接続</b>
全般 画 ログオン設行	面 ローカル リソース エクスペリエンス 詳細設定 定 リモート コンピューターの名前を入力してください。
	コンピューター(C): 例: computer.fabrikam.com 〜 ユーザー名: コンピューター名フィールドが空白です。 リモートコンピューターの完全な名前を入力してください。
一接続設定	現在の接続設定を RDP ファイルに保存するか、または保存された接続を 開いてください。 保存(S) 名前を付けて保存(V) 開く(E)

3 作成したRDPファイルを右クリック→[プログラムから開く]→[メモ帳]で開きます。

- 4 開いたメモ帳の最後の行に[alternate shell:s:"プログラムパス・ファイル名"]を入力して 上書き保存します。
  - (例) alternate shell:s:"C:\Program Files (x86)\Lets\LetsGo2\LetsGo2.exe"



5 編集したRDPファイルをダブルクリックすることでリモートデスクトップ接続し 自動的にサーバー上のレッツ原価管理Go2が起動されます。

※初回接続時はログオンユーザーのパスワードが求められます。 次回以降パスワード確認を表示しないようにするには[資格情報を記憶する] にチェックします。

※作成したRDPファイルではレッツ原価管理Go2のみ操作できます。 (レッツ原価管理Go2を閉じた場合リモートデスクトップ接続も切断されます。)

帳票レイアウターのリモートデスクトップショートカットの作成

- 1 1-15.レッツ原価管理Go2のリモートデスクトップショートカットの作成の1~3の手順 でRDPファイルを作成し、メモ帳で開きます。
- 2 開いたメモ帳の最後の行に[alternate shell:s:"プログラムパス・ファイル名"]を入力して 上書き保存します。
  - (例) alternate shell:s:"C:¥Program Files (x86)¥Lets¥LetsGo2¥System¥ Layouter¥EndUserDesignercs.exe"



- 3 編集したRDPファイルをダブルクリックすることでサーバー上の帳票レイアウターが 起動できます。
  - ※ レッツ原価管理Go2のショートカットと同様に帳票レイアウターのみ操作できます。 (帳票レイアウターを閉じた場合リモートデスクトップ接続も切断されます。)

# Memo

# Memo

## レッツ原価管理Go2

- インストールマニュアル (WAN版)
- 初版 2017年8月17日
- 第4版 2023年10月23日
- 発行者 株式会社レッツ 〒989-6106 宮城県大崎市古川幸町1丁目6-12

・本書の内容に関しては、訂正・改善のため、予告なしに変更することがございます。

